

平成 30 年 3 月 26 日

平成 29 年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）の公表について

このたび、平成29年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）を取りまとめたので、公表します。

1. 調査の概要

- （1）調査対象：国立、公立、私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部（抽出調査）。
抽出率 発育状態：全幼児、児童及び生徒の 5.1%（695,600 人）
健康状態：全幼児、児童及び生徒の 24.9%（3,405,501 人）
- （2）調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。
- （3）調査時期：平成 29 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の間に実施。

2. 調査結果のポイント

【発育状態調査】

- （1）身長の平均値の推移は、平成6年度から13年度あたりをピークに、その後横ばい傾向。
- （2）体重の平均値の推移は、平成10年度から18年度あたりをピークに、その後減少もしくは横ばい傾向。
- （3）肥満傾向児の出現率の推移は、年齢層によりばらつきはあるが、平成18年度以降で見ると概ね減少傾向。

【健康状態調査】

- （1）むし歯に関しては、ピーク時（昭和40～50年代）より減少傾向が続いており、中学校及び高等学校で過去最低。
- （2）裸眼視力が1.0未満の者は小学校及び中学校で増加傾向にあり、過去最高。

<担当> 生涯学習政策局政策課調査統計企画室
電話：03-5253-4111（代表）
（内線3240, 2262）

平成29年度学校保健統計 調査結果のポイント

1. 身長（平均値）

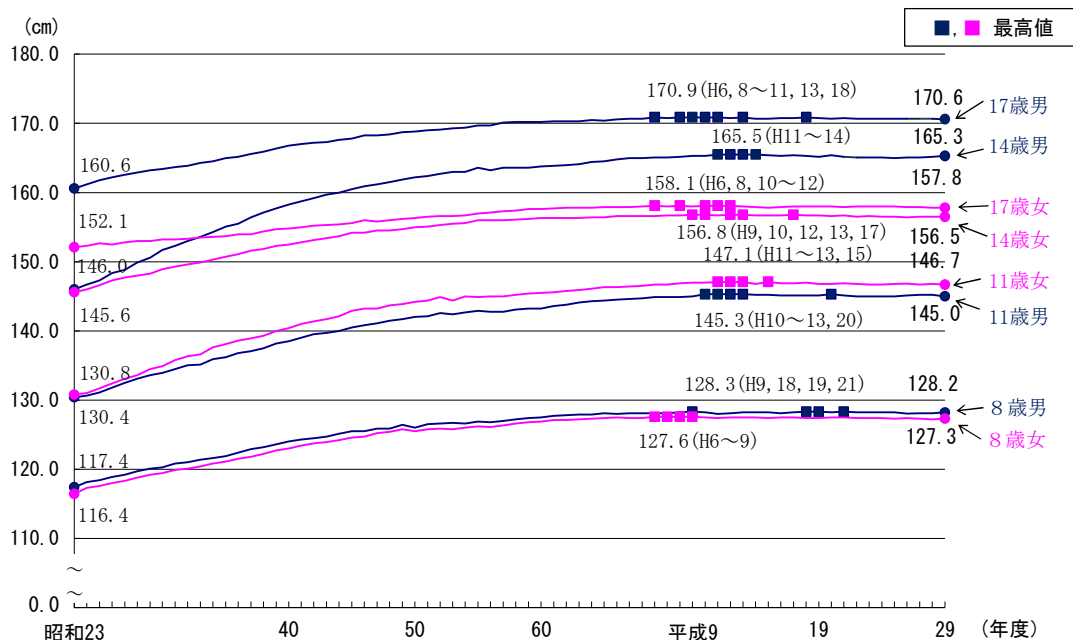
区 分	男 子			女 子		
	平成29年度 A	平成28年度 B	前年度差 A－B	平成29年度 A	平成28年度 B	前年度差 A－B
5 歳（幼稚園）	110.3	110.4	△ 0.1	109.3	109.4	△ 0.1
6 歳（小学校1年生）	116.5	116.5	0.0	115.7	115.6	0.1
7 歳（小学校2年生）	122.5	122.5	0.0	121.5	121.5	0.0
8 歳（小学校3年生）	128.2	128.1	0.1	127.3	127.2	0.1
9 歳（小学校4年生）	133.5	133.6	△ 0.1	133.4	133.4	0.0
10 歳（小学校5年生）	139.0	138.8	0.2	140.1	140.2	△ 0.1
11 歳（小学校6年生）	145.0	145.2	△ 0.2	146.7	146.8	△ 0.1
12 歳（中学校1年生）	152.8	152.7	0.1	151.8	151.9	△ 0.1
13 歳（中学校2年生）	160.0	159.9	0.1	154.9	154.8	0.1
14 歳（中学校3年生）	165.3	165.2	0.1	156.5	156.5	0.0
15 歳（高校1年生）	168.2	168.3	△ 0.1	157.1	157.1	0.0
16 歳（高校2年生）	169.9	169.9	0.0	157.6	157.5	0.1
17 歳（高校3年生）	170.6	170.7	△ 0.1	157.8	157.8	0.0

注1：年齢は、4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

2：△は減少していることを表す。以下の各表において同じ。

○身長の平均値の推移

平成6年度～13年度あたりをピークに、その後は横ばい傾向である。

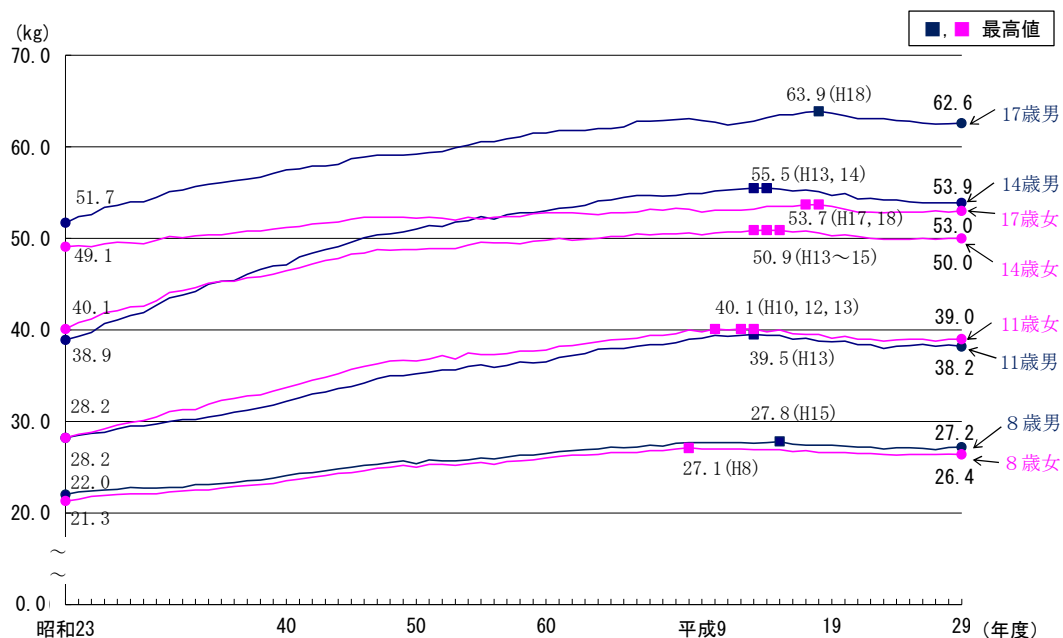


2. 体重（平均値）

区 分	男 子			女 子		
	平成29年度 A	平成28年度 B	前年度差 A－B	平成29年度 A	平成28年度 B	前年度差 A－B
5歳（幼稚園）	18.9	18.9	0.0	18.5	18.5	0.0
6歳（小学校1年生）	21.4	21.4	0.0	21.0	20.9	0.1
7歳（小学校2年生）	24.1	24.0	0.1	23.5	23.5	0.0
8歳（小学校3年生）	27.2	27.2	0.0	26.4	26.4	0.0
9歳（小学校4年生）	30.5	30.6	△ 0.1	29.9	29.8	0.1
10歳（小学校5年生）	34.2	34.0	0.2	34.0	34.0	0.0
11歳（小学校6年生）	38.2	38.4	△ 0.2	39.0	39.0	0.0
12歳（中学校1年生）	44.0	44.0	0.0	43.6	43.7	△ 0.1
13歳（中学校2年生）	49.0	48.8	0.2	47.2	47.2	0.0
14歳（中学校3年生）	53.9	53.9	0.0	50.0	50.0	0.0
15歳（高校1年生）	58.9	58.7	0.2	51.6	51.7	△ 0.1
16歳（高校2年生）	60.6	60.5	0.1	52.6	52.6	0.0
17歳（高校3年生）	62.6	62.5	0.1	53.0	52.9	0.1

○体重の平均値の推移

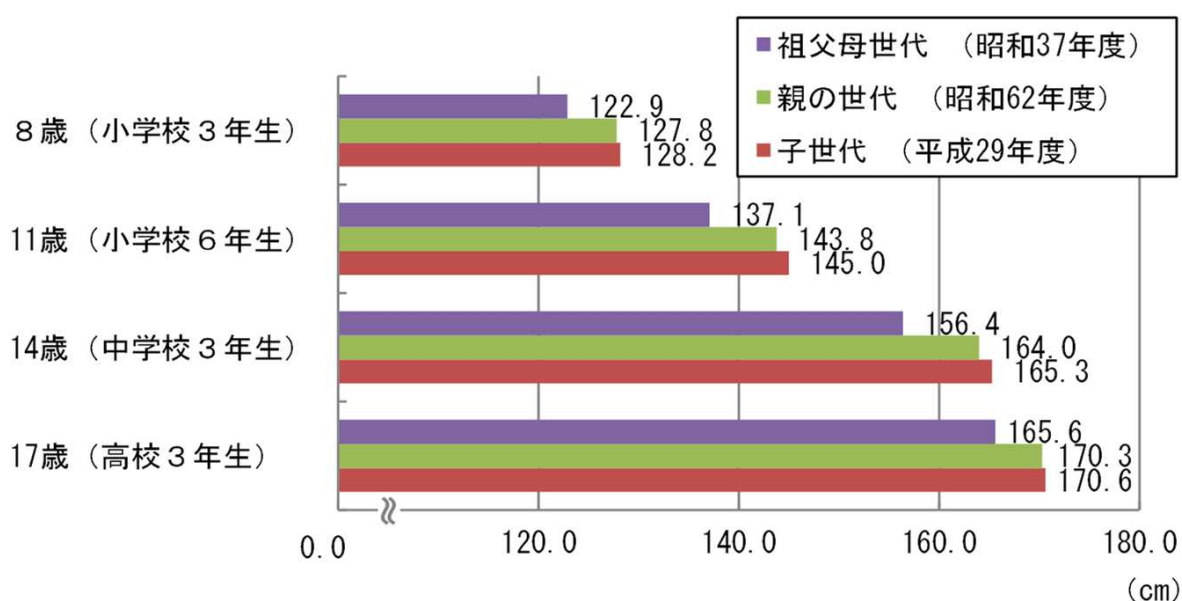
平成10年度～18年度あたりをピークに、その後は減少もしくは横ばい傾向である。



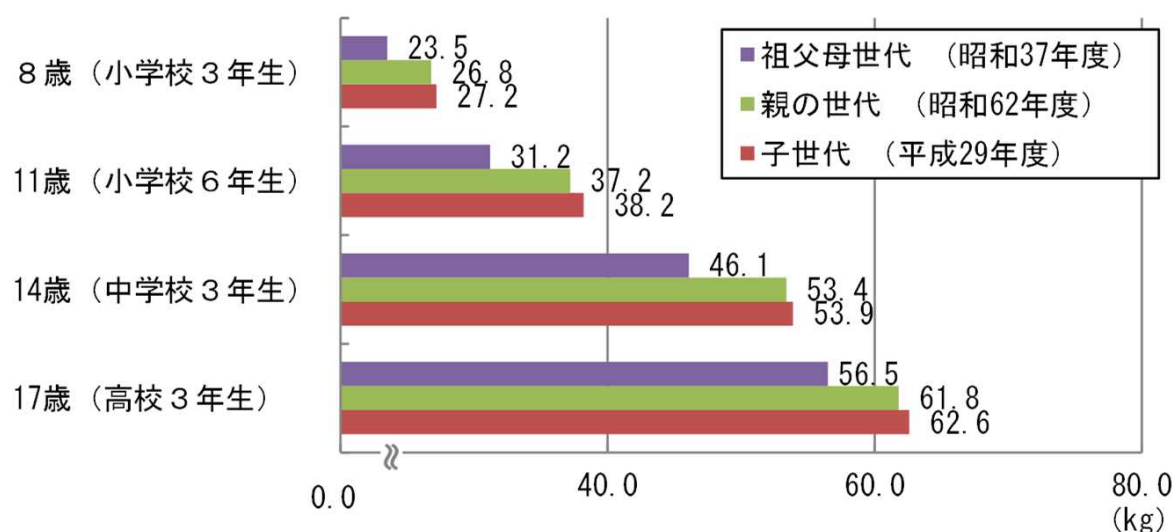
3. 発育状態の世代間比較（身長・体重）

子世代，親の世代（30年前），祖父母世代（55年前）を比較すると，身長・体重とも各世代間で増加していることがわかる。全体的には祖父母世代から親の世代が大きく増加している。親の世代と子世代の間でも増加しているが，祖父母世代と親の世代の間に比べると増加の割合は小さい。

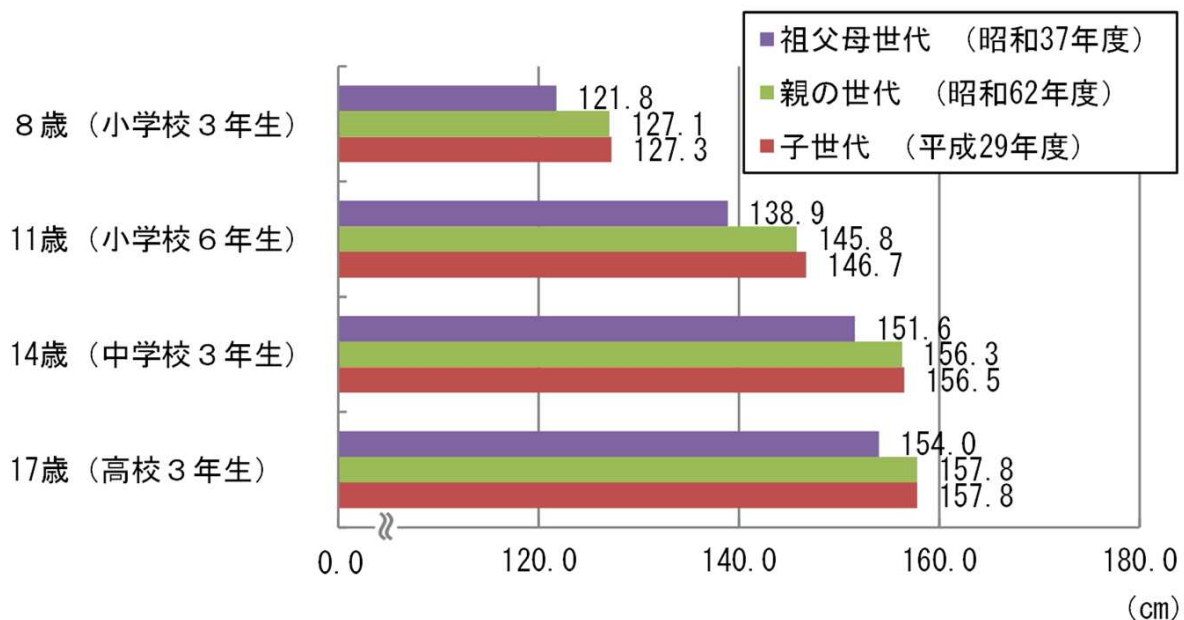
平均身長（男子）



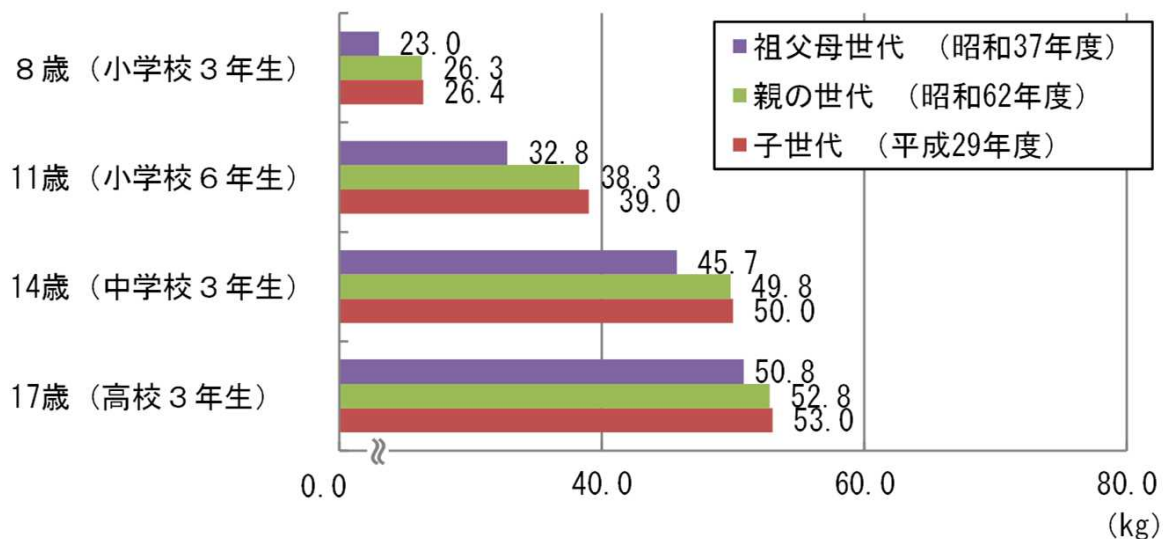
平均体重（男子）



平均身長（女子）

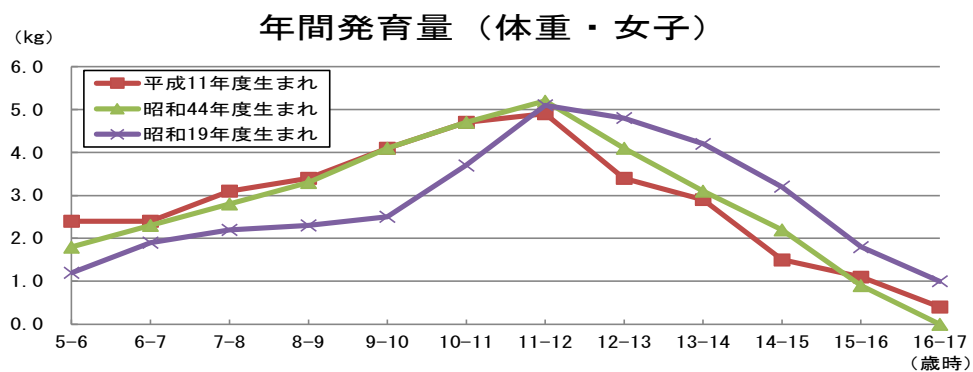
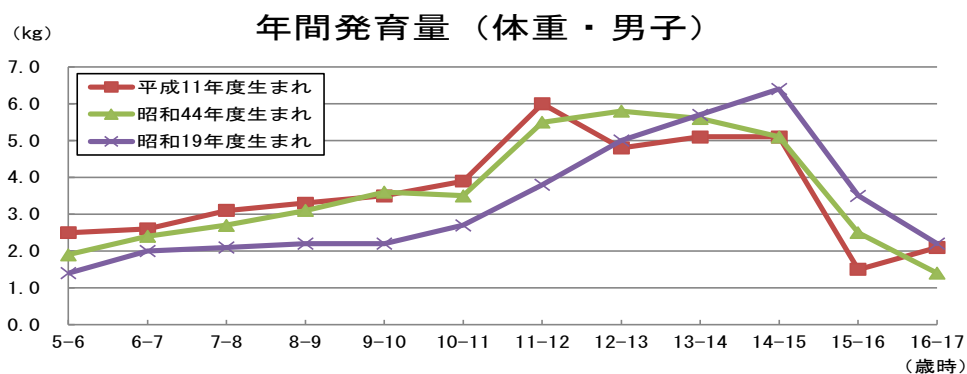
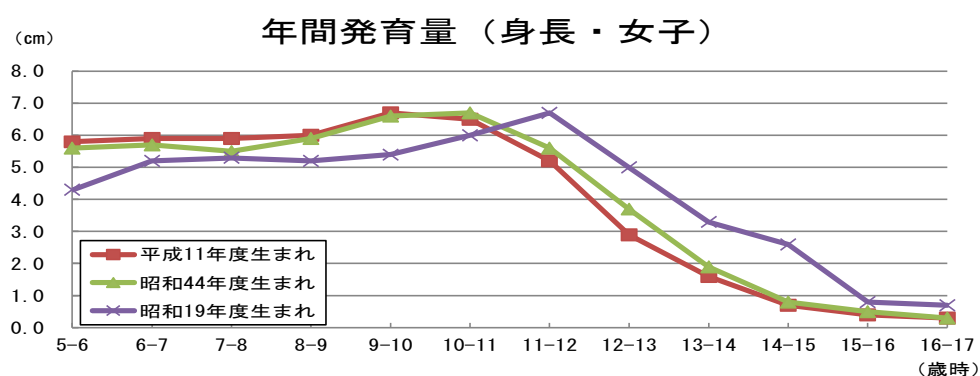
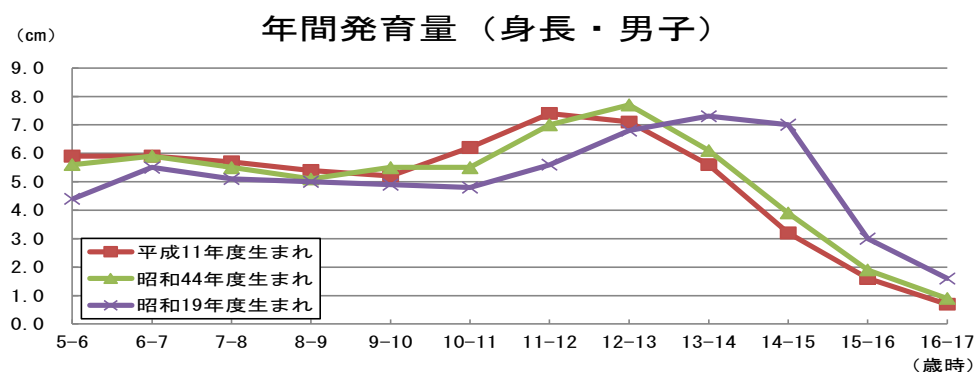


平均体重（女子）



4. 年間発育量の世代間比較（身長・体重）

年間発育量を世代間で比較すると、男子、女子共に身長、体重のいずれも、現在に近い世代ほど早期に増加している。



注：「平成11年度生まれ」は現在17歳（高校3年生）, 「昭和44年度生まれ」は親の世代の17歳, 「昭和19年度生まれ」は祖父母世代の17歳の数値。

5. 肥満傾向児の出現率の推移

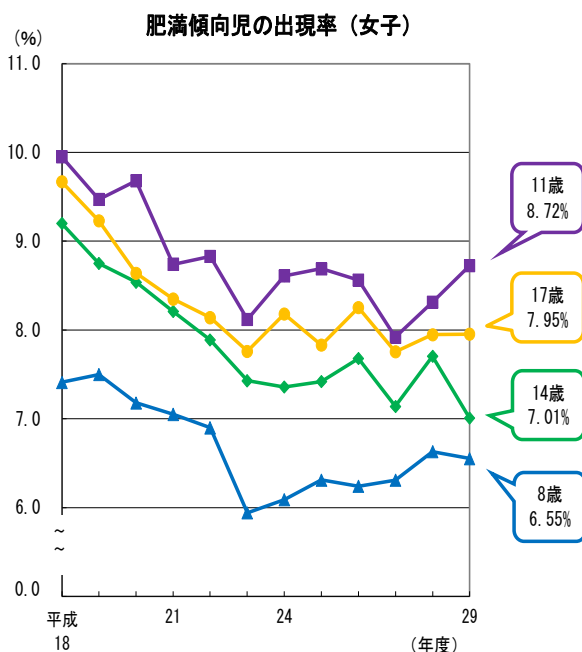
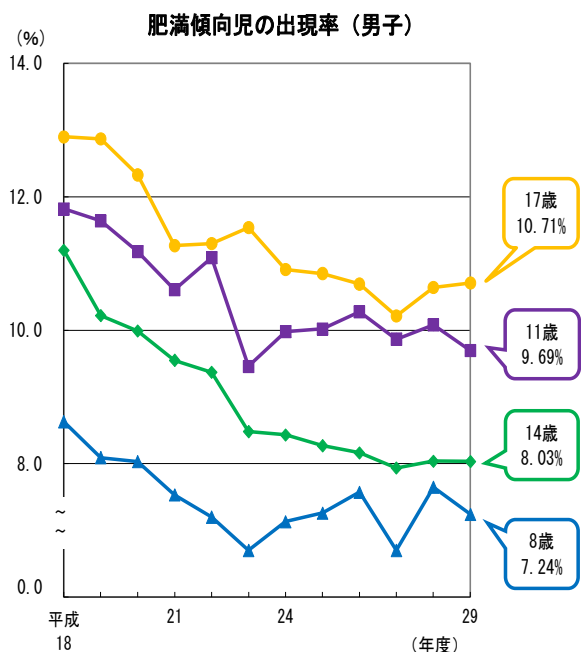
年齢層によりばらつきはあるが、算出方法を変更した平成18年度以降で見ると、概ね減少傾向である。

肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重を求め、肥満度が20%以上の者である。

肥満度＝〔実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）〕／身長別標準体重（kg）×100（％）

例えば、11歳男子の全国平均値9.69％とは、肥満度20％以上の者の割合が男子児童（11歳）全体の9.69％であることを意味している。

区分		幼稚園		小 学 校						中 学 校			高等 学校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男子	平成18年度	2.59	5.70	6.21	8.63	10.81	11.70	11.82	13.26	11.23	11.20	13.76	12.45	12.90	
	19年度	2.78	4.79	6.77	8.09	10.23	11.59	11.64	12.41	10.84	10.22	13.47	12.92	12.87	
	20年度	2.87	4.52	6.19	8.03	10.36	11.32	11.18	11.97	10.28	9.99	13.45	11.85	12.33	
	21年度	2.75	4.55	5.60	7.53	9.57	10.76	10.61	11.49	9.71	9.55	12.11	11.20	11.27	
	22年度	2.80	4.46	5.62	7.20	9.06	10.37	11.09	10.99	9.41	9.37	12.40	11.57	11.30	
	23年度	2.14	3.75	5.18	6.70	8.39	9.42	9.46	10.25	9.02	8.48	11.99	11.16	11.54	
	24年度	2.41	4.09	5.58	7.13	9.24	9.86	9.98	10.67	8.96	8.43	11.41	10.25	10.91	
	25年度	2.38	4.18	5.47	7.26	8.90	10.90	10.02	10.65	8.97	8.27	11.05	10.46	10.85	
	26年度	2.55	4.34	5.45	7.57	8.89	9.72	10.28	10.72	8.94	8.16	11.42	10.16	10.69	
	27年度	2.34	3.74	5.24	6.70	8.93	9.77	9.87	9.87	8.37	7.94	11.34	9.21	10.22	
女子	平成18年度	2.97	4.98	5.85	7.41	8.55	8.62	9.95	10.13	9.46	9.20	10.15	9.46	9.67	
	19年度	2.96	4.70	5.71	7.50	8.16	8.92	9.47	9.67	8.99	8.75	9.87	9.18	9.23	
	20年度	2.78	4.57	5.88	7.18	7.91	9.42	9.68	9.84	9.05	8.54	9.56	8.40	8.64	
	21年度	2.65	4.17	5.40	7.05	7.58	8.26	8.74	9.04	8.13	8.21	8.47	8.27	8.35	
	22年度	2.83	4.23	5.13	6.90	7.51	8.13	8.83	8.92	7.96	7.89	8.59	7.81	8.14	
	23年度	2.40	3.93	4.86	5.94	6.82	7.71	8.12	8.51	7.49	7.43	8.26	7.33	7.76	
	24年度	2.36	4.37	5.23	6.09	7.23	7.73	8.61	8.64	7.90	7.36	8.51	7.74	8.18	
	25年度	2.49	3.91	5.38	6.31	7.58	7.96	8.69	8.54	7.83	7.42	8.08	7.66	7.83	
	26年度	2.69	4.15	5.41	6.24	7.36	8.40	8.56	7.97	7.89	7.68	8.35	7.44	8.25	
	27年度	2.24	3.93	5.00	6.31	6.99	7.42	7.92	8.36	7.69	7.14	7.82	7.48	7.75	



注1：「身長別標準体重」については、別添報告書P.26を参照。

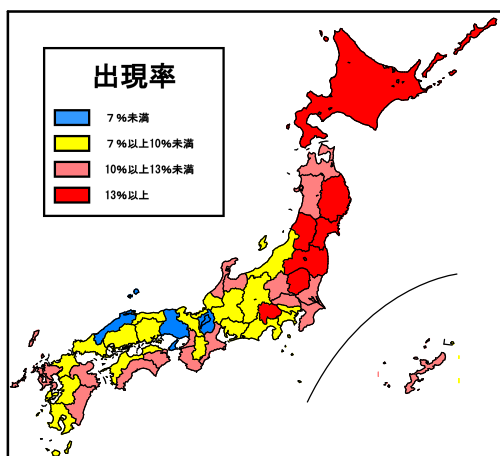
2：平成18年度から肥満傾向児の算出方法を変更。

(参考) 肥満傾向児の出現率

- ① 男子、女子共に肥満傾向児の出現率は低下している。
- ② 東北地方においては、従来より肥満傾向児の出現率は相対的に高い傾向がみられる。
- ③ 男子は女子に比べ、肥満傾向児の出現率が相対的に高い傾向がみられる。

○平成29年度（男子）

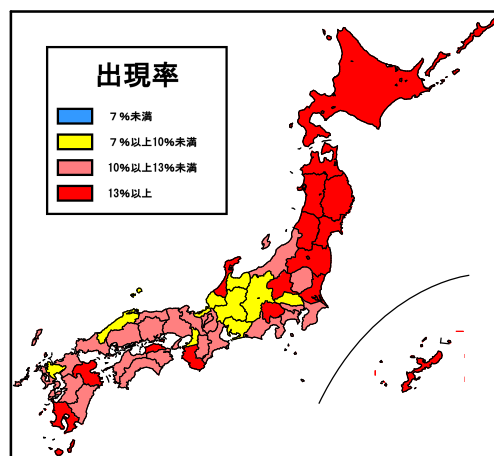
11歳（小学校6年生）男子（平均値9.69%）



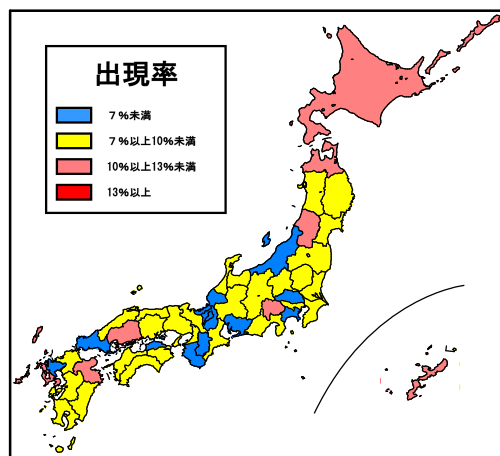
○平成18年度（男子）

（肥満度の算出方法変更後初年度）

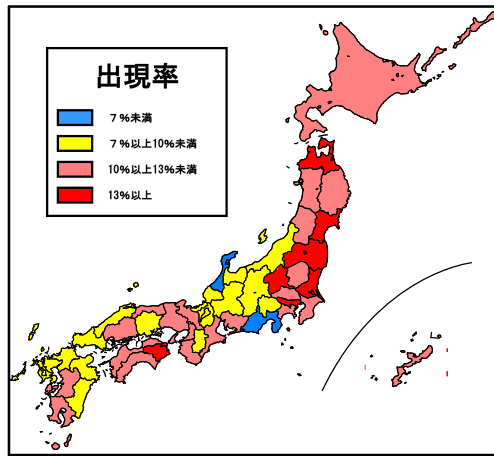
11歳（小学校6年生）男子（平均値11.82%）



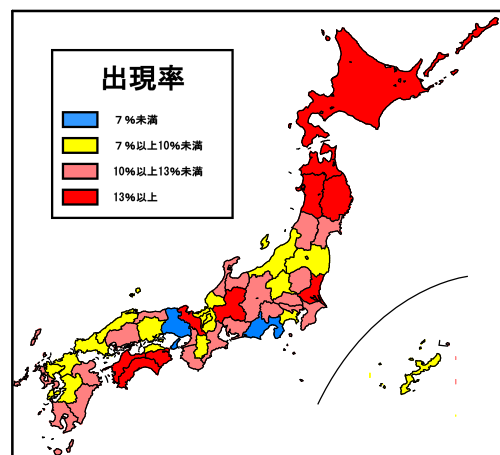
14歳（中学校3年生）男子（平均値8.03%）



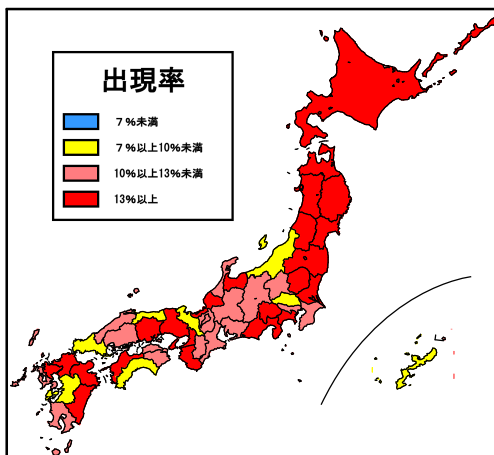
14歳（中学校3年生）男子（平均値11.20%）



17歳（高校3年生）男子（平均値10.71%）

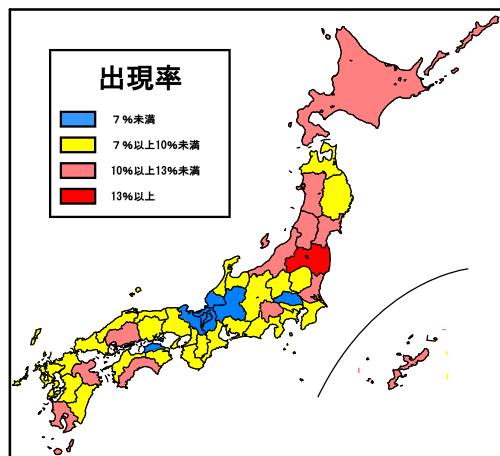


17歳（高校3年生）男子（平均値12.90%）



○平成29年度（女子）

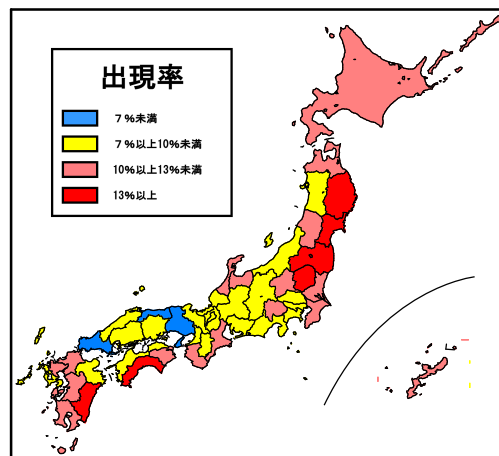
11歳（小学校6年生）女子（平均値8.72%）



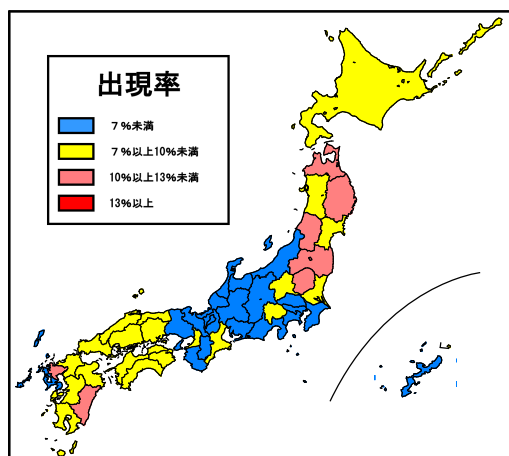
○平成18年度（女子）

（肥満度の算出方法変更後初年度）

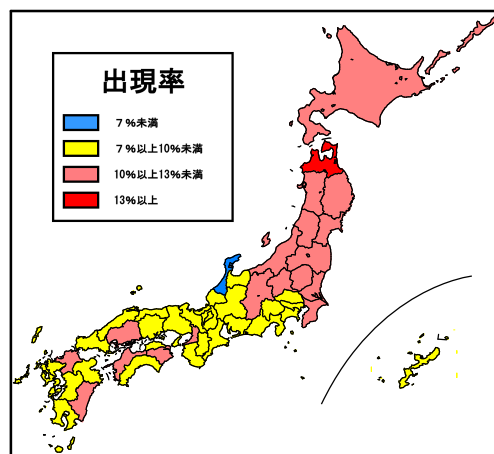
11歳（小学校6年生）女子（平均値9.95%）



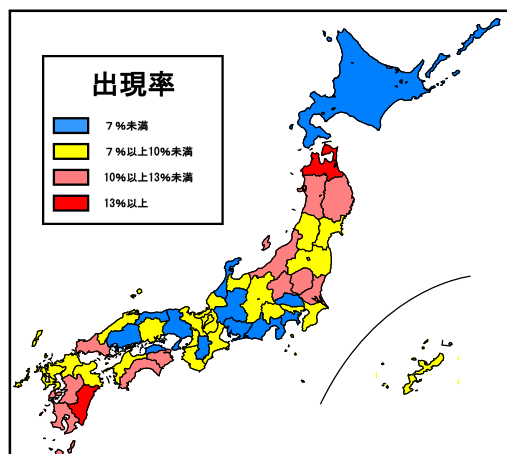
14歳（中学校3年生）女子（平均値7.01%）



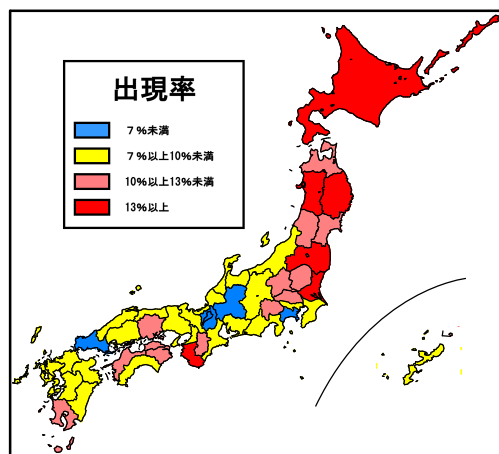
14歳（中学校3年生）女子（平均値9.20%）



17歳（高校3年生）女子（平均値7.95%）



17歳（高校3年生）女子（平均値9.67%）



6. 主な疾病・異常等の推移

近年大きな変化はみられないが、むし歯（う歯）については改善傾向が続いている。また、裸眼視力1.0未満の者の割合は小学校及び中学校で増加傾向にある。

むし歯（う歯）は中学校及び高等学校で過去最低、裸眼視力1.0未満の者の割合は小学校及び中学校で過去最高となったほか、耳疾患が小学校、中学校及び高等学校で過去最高となっている。

○総括表

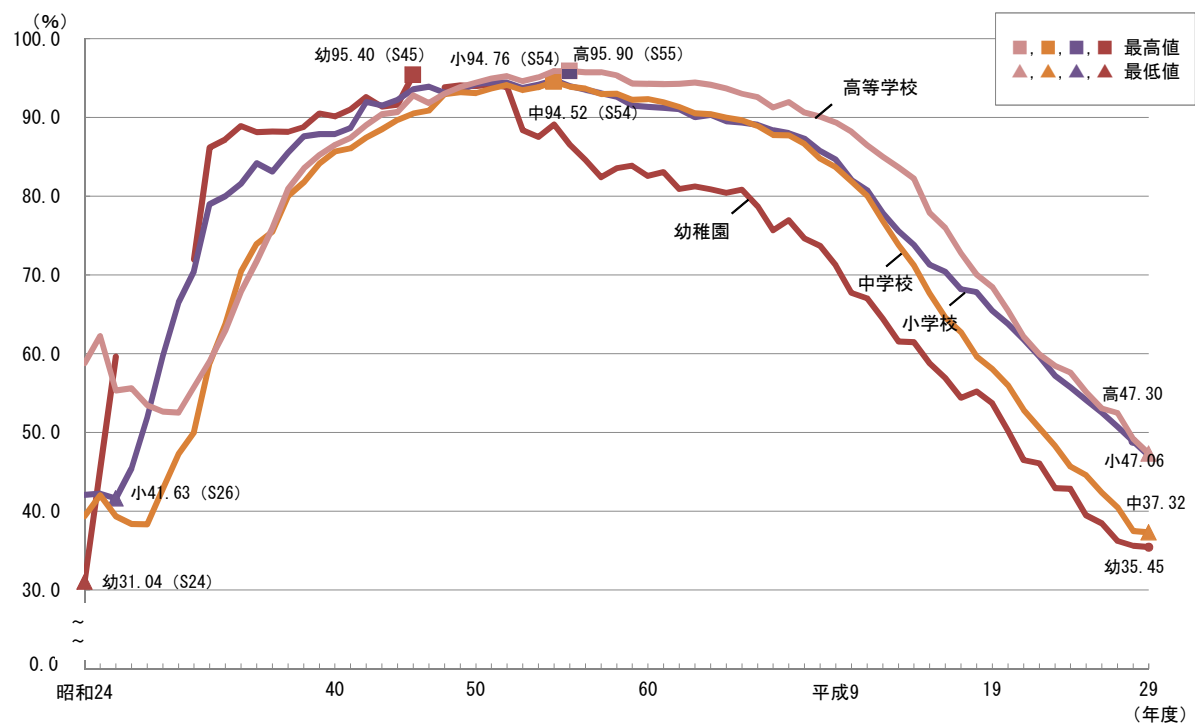
										(%)
区 分	むし 歯 （う 歯）	ア ト ピー 性 皮 膚 炎	ぜ ん 息	裸 眼 視 力 1.0 未 満 の 者	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	四 肢 の 状 態 ・ （※注 2） ・	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患 ・ 異 常
幼稚園	24	42.86	2.88	2.33	27.52	…	0.58 (0.18)	2.60	3.50	1.46
	25	39.51	2.39	2.13	24.53	…	0.89 (0.19)	2.58	3.44	1.37
	26	38.46	2.37	1.85	26.53	…	0.74 (0.16)	2.27	3.13	1.74
	27	36.23	2.52	2.14	26.82	…	0.76 (0.11)	2.23	3.57	1.30
	28	35.64	2.39	2.30	27.94	…	0.65 0.28	2.83	3.58	1.14
	29	35.45	2.09	1.80	24.48	…	0.97 0.16	2.25	2.86	1.31
小学校	24	55.76	3.25	4.22	30.68	2.30	0.75 (0.36)	5.39	12.19	1.27
	25	54.14	3.06	4.15	30.52	2.62	0.74 (0.38)	5.43	12.07	1.32
	26	52.54	3.22	3.88	30.16	2.34	0.84 (0.46)	5.70	12.31	1.50
	27	50.76	3.52	3.95	30.97	2.35	0.80 (0.54)	5.47	11.91	1.23
	28	48.89	3.18	3.69	31.46	2.44	0.76 1.83	6.09	12.91	1.38
	29	47.06	3.26	3.87	32.46	2.39	0.87 1.16	6.24	12.84	1.28
中学校	24	45.67	2.47	2.95	54.38	3.32	2.50 (0.80)	3.62	11.39	0.70
	25	44.59	2.48	3.22	52.79	3.44	2.45 (0.83)	3.89	11.11	0.67
	26	42.37	2.52	3.03	53.04	3.33	3.00 (1.04)	4.00	11.21	0.67
	27	40.49	2.72	3.00	54.05	3.17	2.91 (1.02)	3.63	10.61	0.58
	28	37.49	2.65	2.90	54.63	3.30	2.57 3.43	4.47	11.52	0.69
	29	37.32	2.66	2.71	56.33	3.40	3.18 2.41	4.48	11.27	0.64
高等学校	24	57.60	2.07	1.91	64.47	3.02	2.67 (0.62)	1.88	8.63	0.46
	25	55.12	2.14	1.90	65.84	3.19	2.68 (0.58)	2.15	8.74	0.47
	26	53.08	2.14	1.93	62.89	3.25	3.14 (0.70)	2.05	8.72	0.54
	27	52.49	2.05	1.93	63.79	3.33	2.95 (0.74)	2.04	7.34	0.44
	28	49.18	2.32	1.91	65.99	3.39	3.29 2.46	2.30	9.41	0.42
	29	47.30	2.27	1.91	62.30	3.27	3.52 1.49	2.59	8.61	0.50

注1:「心電図異常」については、6歳、12歳及び15歳のみ調査を実施している。

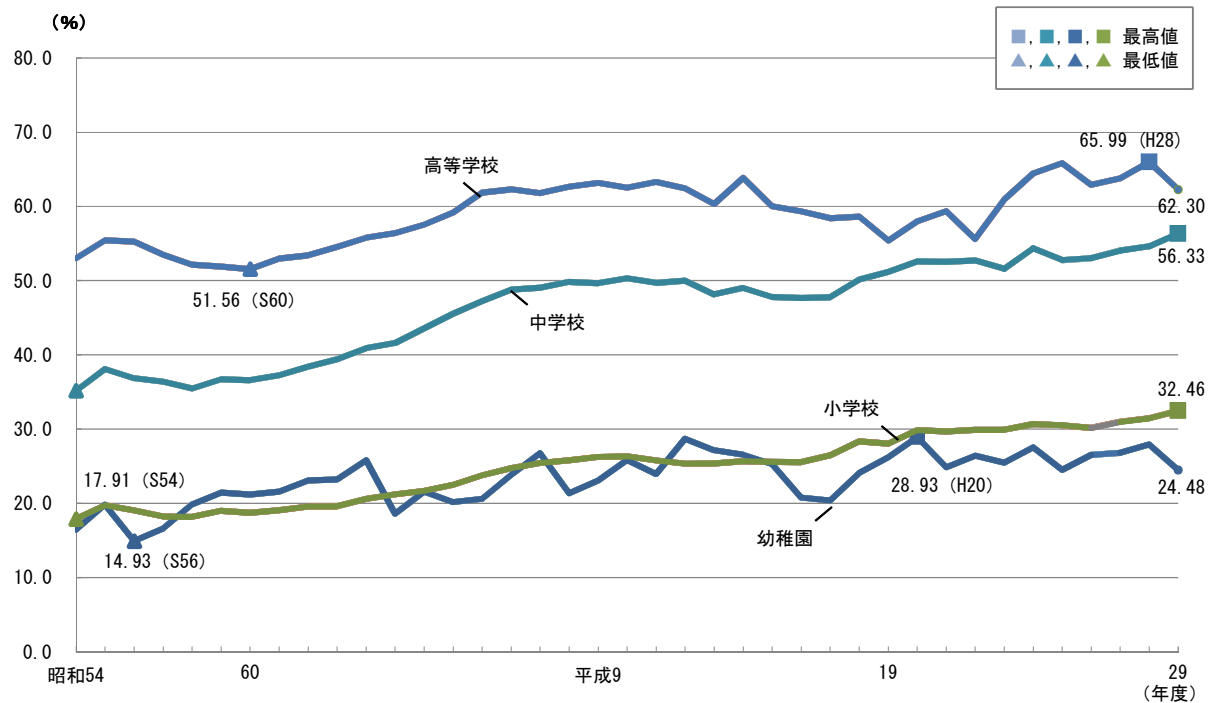
注2:「せき柱・胸郭・四肢の状態」については平成27年度までは「せき柱・胸郭」のみを調査。

: 過去最高
 : 過去最低

○「むし歯（う歯）」の者の割合の推移

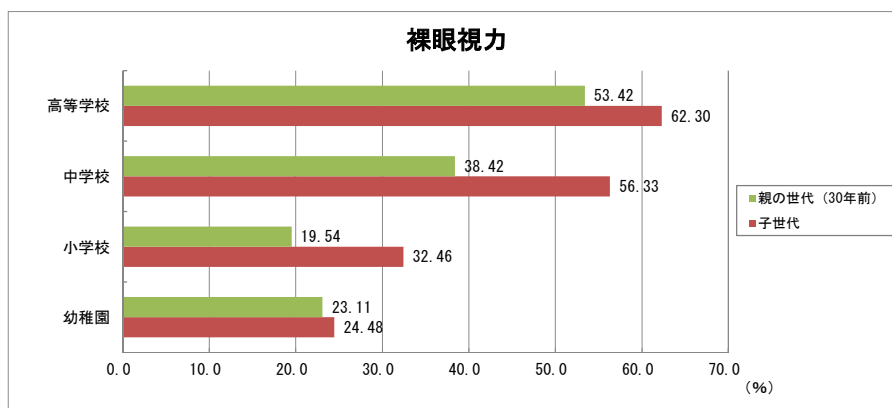


○「裸眼視力1.0未満の者」の割合の推移

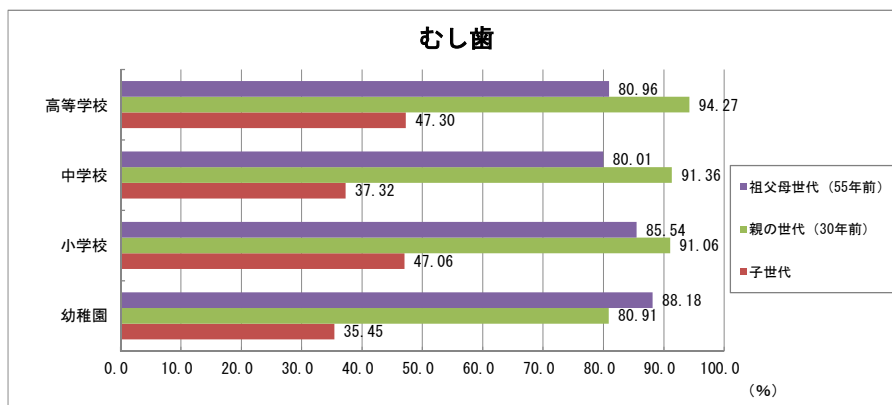


7. 主な疾病・異常等の世代間比較

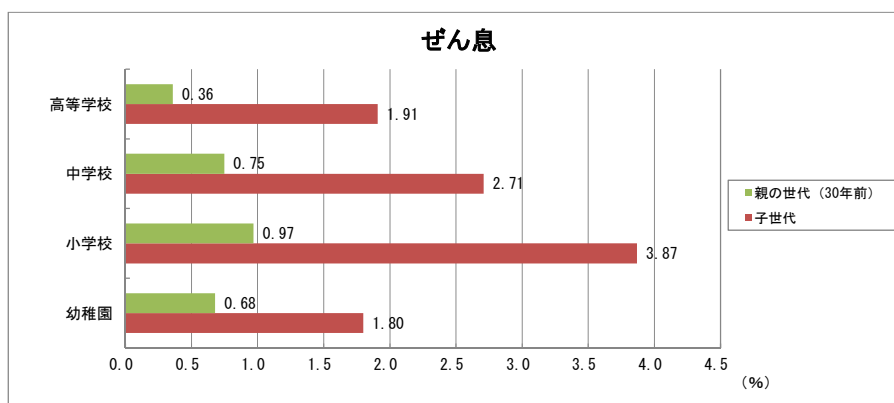
① 裸眼視力1.0未満の者は、親の世代に比べ子世代では多くなっている。



② むし歯のある者は、祖父母世代に比べ親の世代では多くなっていたが、親の世代に比べ子世代では減少している。



③ ぜん息のある者は、親の世代に比べ子世代では多くなっている。



※子世代:平成29年度調査, 親の世代(30年前):昭和62年度調査, 祖父母世代(55年前):昭和37年度調査結果による。
 なお, 裸眼視力及びぜん息については, 昭和37年度調査における調査項目とはなっていない。